

Projecteur NEWS

青梅市立総合病院
採用・定着促進委員会
広報担当

みなさん、こんにちは。『採用・定着促進委員会』です。初回号では緊張しながらも楽しむ新人さんたちの研修風景をお届けしました。しばらく月が空きましたが、スタッフの夏の思い出と共に、ニュースレター2号目の配布となります。今回は当院へインターンシップに来てくれた看護学生さんと指導にあたったスタッフの方々にインタビューを行った様子をお届けします。コロナ禍で病院実習や病院見学が十分に行えない中、インターンシップで病院の雰囲気や看護師の実際の動きを体感し、学生さんはさまざまなものを得てくれたようです。将来一緒に病院・病棟で働けたらいいですね。暑い中、指導にあたったスタッフの方々もお疲れ様でした！by広報担当スタッフ一同

ようこそ、私たちの病棟へ

インターンシップ=職業体験のお話



8月、西3病棟に看護学生さんが来てくれました。当院のインターンシップへの参加です。インターンシップでは1日を通して、清潔ケアやバイタルサイン測定を行ったり、点滴や採血の見学、授乳の様子も見学することができました。実際の現場をみることで、病棟の雰囲気や患者さんに丁寧に対応するスタッフの姿を見て感動しましたと、インターンシップを振り返り、話してくれました。



▲新生児を抱っこし感動の学生さん

別病棟でインターンシップをした学生さん達からも、スタッフへのお礼と感想をメールにて頂きました。その一部をみなさんにもご紹介いたします。「この度は貴重な看護体験をさせていただきました。実習とは違う視点で、現場の看護師さんの働きや仕事内容を拝見することができて、大変勉強になりました。丁寧に対応して下さい、ありがとうございました」

インターンシップとは、「職業体験」のことです。就職を控えた学生さんが、希望する企業などで実際に働いたり、訪問したりすることで、業務内容や働くことの理解を深めるための制度です。多くの病院でも同様に、看護師を目指す学生さんが病院で看護体験をし、働く自分をイメージできるよう職業体験の機会と場を提供しています。先輩看護師さんの体験談や採用や教育担当者と話ができるのも、病院インターンシップの利点でもあります。インターンシップを通して、「この病院は自分に合っているのか」と考える機会や、「実習では見えなかった看護師の仕事」を経験することで、さらに看護職の理解につながるのではないのでしょうか。



学生さんが私たちの仕事や職場に興味を持ってくれたのがうれしかったです。実際に職場体験をすることで、実習では味わえない病棟の雰囲気や日々の看護の様子などを肌で感じてもらったのではないのでしょうか。

インターンシップの学生さん達に、仕事の楽しさをこれからも伝えていければと思います。

西3病棟 担当者より

わたしの夏休み

拝啓、こんな夏を過ごしました。



各所で花火大会が中止となっていますが、お庭でする小さな線香花火も風情があって楽しいです。



日差しが落ち着いた時間帯にウォーキングしています。日焼け止めも熱中症対策も万全です。



家の中にテントを張り、子供と一緒におうちキャンプを楽しみました。部屋はぎゅうぎゅうですが笑

